

# C-32 婦人の胸部形態に関する一考察

信州大教育

西沢 直

目的 人体の胸部特に W.L. 周辺は被服の設計，着装にあたって重要な部位であるが，脂肪，筋に覆はれているので形態的に個人差が大きいと思われる。今回は高径，横径，矢状径，周径の計測を行い胸部形態を詳細に把握したいと考え研究をすすめた。

方法 資料は長野県における短大女子学生 122 名を対象として身長・乳頭高・胸高・腰高及び胸囲，胴囲，腰囲線における横径・矢状径・周径の計測値 13 項目 (W.L. → B.L.)・(H.L. → W.L.) の計測値 2 項目を用いて  $\bar{x}$ ， $s$ ， $r$  により胸部の形態的特性の把握を試みた。

結果 主な結果として若い婦人の (W.L. → B.L.)，(H.L. → W.L.) は身長，胸囲，腰囲に対して次表のように極めて低い相関を示す。

|                 |           |           |           |
|-----------------|-----------|-----------|-----------|
|                 | 身長        | 胸部周径      | 胸部横径      |
| (W. L. → B. L.) | $r = .22$ | $r = .07$ | $r = .01$ |
|                 |           | 腰部周径      | 腰部横径      |
| (H. L. → W. L.) | $r = .17$ | $r = .23$ | $r = .31$ |